

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域療育センターあおば		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○訪問先施設評価実施期間	2025年4月1日		2025年12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 26
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「訪問先施設評価」「保護者評価」とも、提供したサービスや助言、相談対応の専門性や知識等について、高い評価をいただいています。地域療育センターの各専門職が、ニーズに合わせて保育所等訪問支援事業にあっており、専門性の高いサービス提供ができていると思われます。	保育所等訪問支援事業への従事にあたっては、先輩職員との同行訪問や助言、OJTによる職員の育成に取り組んでいます。各職種の専門性を高める外部研修等への参加の勤奨等に取り組んでいます。	「事業所自己評価」の集約結果のフィードバックによる、現状の強みと弱みの確認と情報共有を進め、更に充実を図る取り組みのための意見集約をし活かしていきます。 児童発達支援管理責任者、管理者、事務局による具体的取り組みの検討や関係部署との調整を図っていきます。
2	「従事者評価」では、個別ニーズの把握や課題分析、訪問計画の共有、訪問先の理念や支援手法の尊重等従事者が高い意識をもって取り組んでいることが伺えます。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「訪問先施設評価」では、問1,2,3で支援の内容や具体性、知識・技術・質問への回答等への評価が高いものの、問4,5の課題解決や支援への満足では「わからない」の回答が一定数あります。自由記述で「タイムリーな支援」や「回数への要望」等の記載が見られ、十分ではないと思われます。	訪問先から求められるニーズに対して十分な従事者の体制を確保できていないことが考えられます。	限られた人員の中でも、利用児・保護者・訪問先から求められるニーズにできる限り応えられよう、運用方法の工夫をしていく必要があります。
2	「保護者評価」では、問1,14,23で「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」の回答がみられ、「教材教具」「家族支援プログラム」「広報」等十分でないと思われます。	個々のニーズに対応した個別支援計画を作成し支援を行っている中、総合的な案内がやや不足していることが考えられます。	必要に応じて関連制度や社会資源の情報提供等総合的な案内をできるように、多職種連携も含めて取り組んでまいります。
3	「従事者評価」では、問2,5,12,23,24,26,32,34で「いいえ」の回答が30%を超えています。特に従事者ニーズである「意見集約と業務改善」「標準化ツール」「研修の機会」等の意見はきちんと対応していく必要があります。	多職種の職員が他部署の業務を担いながら、保育所等訪問支援事業に従事しています。職種毎のノウハウの継承が主としており、標準化ツールの検討や意見集約が不足し、保育所等訪問支援事業を目的とした研修がなされていないことが考えられます。	従事者の支援や育成に関する事業所の体制作りや運営方法の改善等について、更に検討・調整を進めていく必要があります。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		地域療育センターあおば				公表日 2026年3月31日	
		利用児童数 50				回収数 23	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	10 43.5%	2 8.7%	0 0%	11 47.8%	① イラストがあり、親も配置がわかりやすいです。その日のスケジュールも毎度貼ってくださるのでこちらもわかりやすいです。 ② どう言うものがそれに該当するのかわかりません。	「わからない」との回答が11件(47.8%)と多くいただいています。必要時、センターあおばの教具教材を適宜判断・持参等して訪問していますが、適切な説明に努めてまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	21 91.3%	1 4.3%	0 0%	1 4.3%		「はい」の回答が21件(91.3%)ですが、「どちらともいえない」「わからない」の回答も1件ずついただいております。引き続きプライバシーに配慮した環境での対応に努めてまいります。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	22 95.7%	0 0%	0 0%	1 4.3%	① よくわからない	「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「わからない」も1件(4.3%)いただいております。引き続き適切な説明に努めてまいります。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	21 91.3%	1 4.3%	0 0%	1 4.3%	① 訪問支援の実施が保護者からの要望だけでは進められず、幼稚園側からの直接の連絡をしてもらわなければならない点が、一つの壁だと感じる。 ② よくわからない	「はい」の回答が21件(91.3%)ですが、「どちらともいえない」「わからない」の回答も1件ずついただいております。引き続き、頻度や時間等も含め、適切な相談対応に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	20 87.0%	2 8.7%	0 0%	1 4.3%	① 先生が足りないと思う	「はい」の回答が20件(87%)ですが、「どちらともいえない」「わからない」を計3件(13%)いただいております。「①先生が足りないと思う」とのご意見もいただいております。現行の職員体制の中で、個別ニーズ等に応じた対応を更に工夫してまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21 91.3%	1 4.3%	1 4.3%	0 0%	① 親の負担が多い	「はい」の回答が21件(91.3%)ですが、「どちらともいえない」「いいえ」を計2件(8.7%)いただいております。また「①親の負担が多い」とのご意見もいただいております。保護者等の気持ちに寄り添った専門性の高い支援に努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23 100%	0 0%	0 0%	0 0%		23件全てで「はい」の回答をいただいております。引き続きこどもの特性等に応じた専門性の高い支援に努めてまいります。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	20 87.0%	1 4.3%	1 4.3%	1 4.3%	① トイレの立ち便器使用や、幼稚園の制服での排泄の仕方を一緒に考え練習もさせてもらっています。大変ありがたいです。	「はい」の回答が20件(87%)ですが、「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」を計3件(13%)いただいております。訪問先施設や担任等の意向の計画への反映について、より丁寧な説明に努めてまいります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20 87.0%	0 0%	0 0%	3 13.0%	① とても具体的に、所属先にも保護者にも伝えてくださるので意識を共有しながらどの場所でも過ごしている安心感があります。	「はい」の回答が20件(87%)ですが、「わからない」の回答を3件(13%)いただいております。「ガイドラインの具体的内容」も含めた丁寧な説明に努めてまいります。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21 91.3%	0 0%	0 0%	2 8.7%		「はい」の回答が21件(91.3%)ですが、「わからない」を計2件(8.7%)いただいております。計画に沿った支援の状況等について、より丁寧な説明に努めてまいります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	21 91.3%	0 0%	0 0%	2 8.7%		「はい」の回答が21件(91.3%)ですが、「わからない」を2件(8.7%)いただいております。訪問先施設との連携状況等について、より丁寧な保護者説明に努めてまいります。
12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23 100%	0 0%	0 0%	0 0%		23件全てで「はい」の回答をいただいております。引き続き、丁寧な説明に努めてまいります。	

保護者への説明等	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22 95.7%	0 0%	0 0%	1 4.3%		「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「わからない」を計1件(4.3%)いただいております。引き続き、より丁寧な説明に努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	14 60.9%	4 17.4%	1 4.3%	4 17.4%	① 事業所に来ない情報を知れないので、web等で見れるようになるとうれしいです。	「はい」の回答が14件(60.7%)で、6割程度に留まっています。家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会の開催の充実、ホームページ等での情報提供に努めてまいります。
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	22 95.7%	1 4.3%	0 0%	0 0%		「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「どちらともいえない」を計1件(4.3%)いただいております。引き続き、保護者との丁寧な情報共有等に努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23 100%	0 0%	0 0%	0 0%	① わからないことがあったら、その都度教えて下さっています。	23件全てで「はい」の回答をいただいております。引き続き定期あるいは随時の面談・助言等に努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22 95.7%	1 4.3%	0 0%	0 0%		「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「どちらともいえない」を1件(4.3%)いただいております。引き続き保護者の気持ち等に沿った支援に努めてまいります。
	18	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21 91.3%	1 4.3%	0 0%	1 4.3%		「はい」の回答が21件(91.3%)ですが、「どちらともいえない」「わからない」を1件ずついただいております。引き続き迅速・適切な相談対応等に努めてまいります。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21 91.3%	1 4.3%	0 0%	1 4.3%		「はい」の回答が21件(91.3%)ですが、「どちらともいえない」「わからない」を1件ずついただいております。引き続き意思疎通や情報伝達のための配慮に努めてまいります。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	22 95.7%	0 0%	0 0%	1 4.3%		「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「わからない」を計1件(4.3%)いただいております。引き続き訪問先施設との連携・連絡に努めていくとともに、保護者にもお知らせしてまいります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	22 95.7%	0 0%	0 0%	1 4.3%		「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「わからない」を1件(4.3%)いただいております。引き続き訪問先施設との連携・連絡に努めていくとともに、保護者にもお知らせしてまいります。
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	22 95.7%	0 0%	0 0%	1 4.3%		「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「わからない」を1件(4.3%)いただいております。訪問支援を実施した際の情報共有等が適切・迅速になされるよう、引き続き努めてまいります。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16 69.6%	1 4.3%	2 8.7%	4 17.4%	① マチコミで、配信されているものをたよりにしています。	自己評価の結果についてのホームページへの公表とともに、センターあおばの事業や活動概要等についての広報に努めてまいります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23 100%	0 0%	0 0%	0 0%		23件全てで「はい」の回答をいただいております。引き続き個人情報の取扱いに十分留意するとともに、重要事項説明や契約の機会等を捉えた説明等にも努めてまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	21 91.3%	0 0%	0 0%	2 8.7%		「はい」の回答が21件(91.3%)ですが、「わからない」を2件(8.7%)いただいております。引き続き訪問先施設との連携・連絡に努めていくとともに、保護者にも丁寧にお知らせしてまいります。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22 95.7%	1 4.3%	0 0%	0 0%		「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「どちらともいえない」を1件(4.3%)いただいております。引き続き安全確保に十分配慮するとともに、保護者にも丁寧にお知らせしてまいります。

満足度	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	22 95.7%	1 4.3%	0 0%	0 0%	① 喜んでいました	「はい」の回答が22件(95.7%)ですが、「どちらともいえない」を1件(4.3%)いただいています。こどもの状態・状況等を十分踏まえながら、引き続き丁寧な支援を行ってまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	23 100%	0 0%	0 0%	0 0%	① 療育の先生が、園での息子の状況を見て、今、どうしてこういう行動に出ているのか、またこれからの息子への過ごしやすい環境設定や対応方法についてのアドバイスを沢山いただき、またその情報を親のみならず、園の先生と共有できた事に感謝しています。	23件全てで「はい」の回答をいただいております。引き続き支援の充実に努めてまいります。

事業所名		公表日			2026年3月31日	
地域療育センターあおば		対象数			41 回収数 26	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	25 96.2%	1 3.8%	0 0%	<p>① どのような情報に過敏だということの説明をしていただいた。</p> <p>② 実際の姿を見て、その場に合った具体的なアドバイスをいただけている。伝えていただける</p> <p>③ 療育センターの方で使われているものなどを提示いただけて、参考になりました。</p> <p>④ 専門の知識が多く、勉強になり、その子どもへの支援につながるアドバイスがありがたい。</p> <p>⑤ 一つひとつの行動に沿った対応の仕方を具体的に教えて頂きとてもわかりやすかったです。</p> <p>⑥ 自分たちの目だけではなく様々な視点から子ども理解することができるとてもいい機会です。</p> <p>⑦ 対象児童の特徴をよく理解している上での助言だったので、分かりやすかった。</p> <p>⑧ 子どもの様子を見て、わかりやすく話してくださります</p> <p>⑨ 子ども目線で、自然に入ってくださり、お散歩に同行してもらいながらお話しすることが出来たので良かったです。</p> <p>⑩ 切り替え時などやり方を共有できたことが良かった</p> <p>⑪ 取り入れやすい場合とそうでない場合があります。ただ、「どちらとも言えない」にしてしまうと、今後会う際に気まずい思いをするのではないかと考えてしまうと「はい」を選ぶしかないと思ってしまう。以下の質問に関しても同様であるとお汲み取りいただけますと幸いです。</p> <p>⑫ 担当保育士、ソーシャルワーカーにもよると感じた</p>	<p>「はい」の回答が25件(96.2%)ですが、「どちらともいえない」の回答も1件ずついただいております。引き続き、「具体的でわかりやすい助言や説明に」努めてまいります。</p> <p>ご意見の①～⑫で「はい」お答えいただいたことご具体的な場面・状況について記載していただき、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>⑫で「取り入れやすい場合とそうでない場合があります」「担当保育士、ソーシャルワーカーにもよると感じた」とのご意見をいただいております。訪問先施設の先生方のお話を伺いながら、具体的にわかりやすい説明ができるよう、訪問支援員全体のレベルアップに取り組んでまいります。</p>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	25 96.2%	1 3.8%	0 0%	<p>① 対応について助言いただいた</p> <p>② 対応が間違っていないまでも、その子の特性上伝わりにくいこともあるということ</p> <p>③ 園長先生、主任の先生方の知識と技術の高さが素晴らしい、大変勉強になりました。</p> <p>④ 保育側としては特に気に留めていなかった部分が、実はこうした意図からくる行動であることを教えていただいたり、専門的な視点から教えて頂き勉強になりました。</p> <p>⑤ 対象児については、とてもわかりやすく、今後の対応としても具体的な内容を教えていただき、とても助かりました</p> <p>⑥ 大変参考になることが多く、勉強になります</p> <p>⑦ 具体的な質問をした際に、的確に伝えてくださり、安心しました。</p> <p>⑧ 特にありません</p> <p>⑨ 満足していますが、訪問して下さる方によっても違うと思います。</p>	<p>「はい」の回答が25件(96.2%)ですが、「どちらともいえない」の回答も1件いただいております。引き続き訪問支援員の知識・技術の向上に努めてまいります。</p> <p>ご意見の①～⑦で「はい」お答えいただいたこと具体的な場面・状況について記載していただき、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見の⑨で「満足していますが、訪問して下さる方によっても違うと思います」といただいております。訪問支援員全体のレベルアップに努めてまいります。</p>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	26 100%	0 0%	0 0%	<p>① 気になる、を理論的に説明してくれた。</p> <p>② 訪問以外でも連絡可と言われているが、なかなかスムーズにいかない定期的に連絡がとれるとよい</p> <p>③ 幼稚園という環境を考慮頂いた上でのアドバイスがありがたかったです。</p> <p>④ 具体例を交えながらアドバイス頂きました。</p> <p>⑤ 具体的な回答で理解しやすいです。</p> <p>⑥ OTなどに確認が必要な事項については持ち帰って後日教えてくださいました。</p> <p>⑦ 普段から情報の共有が出来ていたため、質問などに対して的確な回答だった</p> <p>⑧ 質問の背景までくみとってくださり感謝です。</p> <p>⑨ はい。同じ目線での話ができて良かったです。</p> <p>⑩ 何をどうとらえるかに加え、集団生活における困りに関してもっとお話しを聞かせていただければ嬉しいです。</p> <p>⑪ 参考になりますが、訪問して下さる方によっても違うと思います。</p>	<p>26件全てで「はい」の回答で、「訪問支援員が質問に対して、適時・適切に回答している」との結果となっており、引き続き適時・適切な回答に努めてまいります。</p> <p>ご意見の①～⑫で「はい」お答えいただいたこと具体的な場面・状況について記載していただき、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見⑫で「参考になりますが、訪問して下さる方に持っても違うとおもいます。」といただいております。引き続き、訪問支援員全体のレベルアップに取り組んでまいります。</p>	

4	<p>保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。</p>	<p>19 73.1%</p>	<p>7 26.9%</p>	<p>0 0%</p>	<p>① 考える幅が広がった ② 保護者対応、個別の子どもへの対応を園として統一できた ③ 療育での姿と集団での姿の違いや困り感が保護者も含めて共有できたこと ④ 幼稚園で対応している内容で十分とお話しいただいたので、安心はできました。これからも、幼稚園なりに支援していきたいと思います。 ⑤ その時の状態をしっかり把握してくださり、共感しながらアドバイスをしていただけのありがたかったです。 ⑥ ポイントをついた支援の仕方を教えていただけるので不安が軽減されることも多いです。 ⑦ 保護者対応についても共有でき、様々な視点からの関わりが大切であると感じました。 ⑧ 保護者との連携もよくなります ⑨ 療育センターと園との共有が出来ることで、子どもにとってもプラスになるので、とても有難いです。 ⑩ いつもありがとうございます。子ども理解においてとても良い機会となっています。 ⑪ 対象児に対しては軽減されました ⑫ 大変参考になることが多いですが、1回ではなかなか解消までは難しいです</p>	<p>「はい」の回答が19件(73.1%)、「どちらともいえない」が9件(26.9%)、「いいえ」が0件(0%)となっており、「いいえ」のご回答はないものの「どちらともいえない」とのご回答を一定数いただいております。 ご意見①～⑥では、課題や困りごとの解消や軽減の具体的な内容や状況等を記載していただいております。今後の参考とさせていただきます。 ご意見⑦では「対象児については軽減されました」との記載で、他にも課題や困りごとが残されているということかもしれません。また、ご意見⑧では「大変参考になることが多いですが、1回ではなかなか解消までは難しいです」と記載されています。訪問支援員が訪問にうかがえる個別の機会が限られる中でも、より効果的な連携・連絡を図っていくよう、努めてまいります。</p>
5	<p>事業所からの支援に満足していますか。</p>	<p>21 80.8%</p>	<p>5 19.2%</p>	<p>0 0%</p>	<p>① とても頼りにしている ② 今後ともよろしくお願ひします ③ 園に訪問頂いただけでなく、療育センターの方も見学させて頂けたことが、とてもよかったです。 ④ 専門的な目線でお話しくださり、又、あおぼでの様子なども教えていただけるなどして、大変参考になりました ⑤ 時間を作っていただき、園の様子を見ていただくことで、その子の背景をさらに共有出来る大切な時間となりました。ありがとうございました。 ⑥ いつも丁寧に、今だけでなく今後その子が育っていく社会生活を見据えての支援内容がとても心強く園での対応の仕方における参考らせて頂いております。いつもありがとうございます。 ⑦ 専門職による意見は貴重なため、今後も利用したいと思っています ⑧ 利用者（保護者）、事業所、保育園の情報共有ができていたので、とても満足している ⑨ これからの方が支援方法を共有するべき年齢になってくると思われる ⑩ お忙しい中、訪問してくださり、限られた時間の中で子どもをよくみてくださることがありがたい。保護者に伝え方や支援の仕方も勉強になります。保護者様のご意見であったことですが、子どもの発達に不安を感じた時に、混み合っていて先になってしまう。早めに対応してほしいのとお話しされていた方もいます。混み合っていて難しいこの理解と発達不安からの支援がスムーズになることを願います。 ⑪ 来ていただく先生にはいつもたくさんのご助言をいただき、大変助かっており、感謝の気持ちでいっぱいです。5番をどちらともいえないとした理由は、その他のグレーなお子さんで対応に困っている場合にすぐに相談が出来る体制づくりが出来ると本当にありがたいと思えます。 ⑫ 支援には満足ですが、いらしていただく日程を決めるのになかなか予定が合わなかったり、申込に時間がかかったり、見ていただきたいタイミングがずれることが多々あります。 ⑬ 訪問の機会が数回あるとありがたいです。園児数が多いので対象者が多いです。</p>	<p>問「はい」の回答が21件(80.1%)、「どちらともいえない」が5件(16%)、「いいえ」が0件(0%)となっており、「いいえ」のご回答はないものの「どちらともいえない」とのご回答を一定数いただいております。訪問先からのご意見等も踏まえながら、提供サービスの更なる向上等に向けた検討・調整を進めてまいります。 ご意見では、満足いただけている内容の記載が多いものの、⑨では「これからの方が支援方法を共有すべき年齢」と継続的支援に向けたご意見や⑩～⑫では「早めの対応」「すぐに相談ができる体制」「見ていただきたいタイミング(での訪問)」等の迅速でタイムリーな訪問支援へのご意見をいただいております。 訪問支援員が療育センター業務と兼務の中、個別の児童や各施設様等からのニーズに適切に対応していくための検討・調整を引き続きすすめてまいります。</p>
<p>その他のご意見</p>		<p>ご意見を踏まえた対応</p>				
<p>※回答なし</p>						

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		地域療育センターあおば		公表日		2026年3月31日	
		チェック項目		工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	17 85%	3 15%	① 各自必要な物を工夫して追加していると思います。あったらよかった物、記入しやすい書式等の案があれば共有できるといいと思います。 ② 評価ツールではなく、個人の経験に基づいてやっているため、担当者以外や経験の浅い職員でも同等の支援ができる仕組みは必要だと思う。 ③ 療育で使用している物を共有している。個々のスタッフに任されているため、不安はある。 ④ 訪問手続きはマニュアル化されたが、実際の支援は行く人、行く課に任されている。一定の質の保証のための指針や研修が必要と思う	・地域療育センターの各専門職員が、兼務して訪問支援を行っていますので、療育センターの教員教材等を適宜判断・活用して訪問しているのが現状です。臨機応変に活用していることはメリットと思いますが、「評価ツール」「指針や研修」の必要性等の意見は、今後の検討・調整の参考としていきます。 ・経験の浅い職員等については先般職員や児童発達支援管理責任者が同行するなどの育成を行っており、引き続き努めていきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	13 65%	7 35%	① 必要な回数はケースによって異なると思いますが、地域移行や地域支援の充実を図るには、職員数を増やしていけるといいと思います。ただ、可能な限り希望に応えられるように体制の工夫をしながら取り組んでいると思います。 ② 実施が必要な人にタイムリーに実施することは難しい。目的を明確にして優先順位で必要なケースに実施している。 ③ スタッフの学びのために、複数のスタッフと一緒に実施できる機会があるとなお良いと思われる。 ④ 通園課は、保護者からのニーズや担任が併用先でのご本人の様子を見たいと感じることは多々ある状況ですが、職員の配置に難しいこともあるので保護者の方に積極的に訪問支援を勧めにくいと感じることがあります ⑤ 課題があれば行くスタイルなので、どう整備していくから検討が必要と思う	【「いいえ」の回答が3割以上】 → 「いいえ」が7件35.0% ・地域療育センターの各専門職員が、兼務して訪問支援を行っていることで、専門性の高い知識・技術を基にした助言や説明、質問に対する適時・適切な回答をいただいていると訪問先施設からは高い評価をいただいています。(参考、訪問先施設評価・問1,問2) ・一方で訪問支援員が専任ではなく「タイムリー」に実施することは難しい場合がある等の課題があるとの意見も出ています。 ・療育センター全体の中で、ニーズにどう応えていくか、今後の検討・調整課題です。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15 75%	5 25%	① それぞれに考えて実施しているのかもしれないが、目的を理解して取り組んでいて改善するという考え方はまだ日常業務には汎化できていないように感じる。事業ごとの振り返りとともに、日常の業務でもこれはなんのためにやるのかを意識して行けるといいと思う。 ② 訪問の目標は設定するが、そもそも1回が年度内に行ける平均値なので、振り返りが難しいと感じています。この事業を続けて行くなら根本からの見直しが必要と思う	・訪問支援員が多職種・多人数に渡る中、療育センターとして、PDCAサイクルを踏まえ、保育所等訪問支援事業の位置づけや方針・方向性を検討・調整していく必要があります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17 85%	3 15%	① 意見は把握しているが、すぐの改善には至っていない。数年かけて変えている印象はある。今後も出てきたことをなかつたことにせず、計画的に考えていけるといいと思う	・事業所としての保護者向けのアンケートの実施は今回が2回目です。寄せられた回答やご意見を踏まえた検討・調整を行い、業務改善につなげていきます。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14 70%	6 30%	① 全体の把握はできていないのでわからないが、課内でいえば、毎年業務の振り返りを行い改善している。複数課で行う業務について改善や新たな方法を考える必要はあると思う。 ② 訪問支援に関する業務が初めてだったので、例年からのように改善されているかわからなかった	【「いいえ」の回答が3割以上】 → 「いいえ」が6件30.0% ・事業所としての従業者向けのアンケートの実施は今回が2回目です。寄せられた回答やご意見を踏まえた検討・調整を行い、業務改善につなげていきます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15 75%	5 25%	① すぐ変化できることは取り組んでいると思う。大きな変化が必要なのは時間がかかるが、検討を継続できるといいと思う。 ② 実施しているが、職員全体にそのとろくみ認知されているかについて改善の余地があると思う	・今回の保護者評価・訪問施設先評価・従業者評価等を総括し、今後の業務改善等につなげていく必要があります。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15 75%	5 25%	① 全体研修で3回は学び機会があったり、それぞれに希望して認められれば業務で研修に参加が可能。行きたい研修で仕事を休むことも可能な環境であるが、自身の研修は個人差が多い気もする。 ② 具体的な実施例を共有できるとなお良いと思われる。 ③ 色々な研修が企画されているが、保育所訪問に関連するものは未実施。今後必要と思う	・療育センターとして、保育所等訪問支援事業の位置づけや方針等の検討・調整と併せ、人材の計画的な確保・育成に向けた研修や仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	20 100%	0 0%	① 訪問先から事前に情報を得ること、保護者からの聞き取りのもと計画作成している。 ② 目的を保護者と話し実施している。 ③ 努力はしているが、さらなる向上のための研修、育成プランは必要と思う	・「はい」の回答が20件(100%)と従業者が高い意識で、アセスメントやニーズ把握、計画の作成に取り組んでいる姿勢が伺えます。事業所として、人材育成を含め引き続き適切な運営に努めていきます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19 95%	1 5%	① 子どもにとって最も良い過ごしに繋がるために具体的にどのような目的で訪問することが必要かを考え、作成している。 ② 保育所等訪問を実施するにあたっては、事前に担当者間で目的を確認したうえで、保護者と話し合っている。そのうえで、園に理解を得て実施できていると思う。目的によっては、担当者が複数訪問することになっている。	・「はい」の回答が19件(95.0%)と従業者が高い意識で共通理解や子どもの最善の利益を検討して支援している姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。	

10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	19 95%	1 5%	① 事前に得た情報や打ち合わせの内容、相談したいことを記録し、要点をまとめて訪問支援計画書に記載している。 ② 訪問前に電話で打ち合わせをすることで、共通理解のもと訪問しやすくなっている ③ 事前に園の様子を聞いたり、先生の思っていることを確認して実施している。 ④ 訪問支援計画書に入力する文言のプルダウンにもう少し内容を追加してほしい。保育所との話の中から適した内容のものを選択することが難しいことがあった。改めて入力するとすると時間も要するのでプルダウンにあるとありがたいです ⑤ 相談票や訪問事後のミーティングを丁寧に実施している	・「はい」の回答が19件(95.0%)と従事者が高い意識で「訪問先施設の担当者等との連携や意向の取り入れ」に取り組んでいることが伺えます。 ・④の訪問支援計画書の使い勝手の改善意見については、検討・調整していきます。
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17 85%	3 15%	① 訪問時に作成するが、経過を十分おえているわけではない。やはりやり方の改善が必要と思う	・「はい」の回答が17件(85.0%)と従事者が高い意識で支援計画の共有や計画に沿った支援に取り組んでいる姿勢が伺えます。 ・①の意見等更なる改善に向けては、事業所としても引き続き取り組んでいきます。
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14 70%	6 30%	① 経験の浅い職員には先輩職員が同行したり、計画書の作成を一緒に行ったりしている。 ② アセスメントのツールは標準化されたものがないため、今後検討が必要だと思う。 ③ フォーマルなアセスメントシートの活用があるとよいと思う	【「いいえ」の回答が3割以上】 → 「いいえ」が6件30.0% ・地域療育センターの各専門職員が、兼務して訪問支援を行っており、各専門領域の関わり方や視点を踏まえたアセスメント等をベースにしていることが多いのが現状で、①の意見のような工夫も適宜実施しています。保育所等訪問支援事業における標準化したツールの作成・適用については、検討・調整が必要です。
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	19 95%	1 5%	① 支援内容によると思いますが、訪問先に対して提案だけでなく実践に付けていくにはある程度の訪問回数が必要な場合があると思う。 ② 本人支援、訪問先支援、家族支援の項目ごとに、対応や環境調整、本人理解の視点など相互に関連を持ちながら達成に向かうための内容を明記している。 ③ 園の先生にエンパワーができて、訪問がなくても支援が継続してもらえよう、先生が実際に実施できることを話し合っ確認している。	・「はい」の回答が19件(95.0%)と従事者が高い意識で具体的な支援内容を設定していることが伺えます。必要性に応じた訪問回数の調整(①)等、事業所として引き続き適切な支援・運営となるよう努めていきます。
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18 90%	2 10%	① 児童発達支援管理責任者と訪問担当者が確認しあい、共通認識の中で計画に沿った支援が行われている。	・「はい」の回答が18件(90.0%)と従事者が高い意識で、アセスメントやニーズ把握、計画の作成に取り組んでいる姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19 95%	1 5%		・「はい」の回答が19件(95.0%)と従事者が高い意識で打合せや役割分担について確認し、チームで連携した支援にあたっている姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18 90%	2 10%	① 振り返り際に、情報の共有や今後の方針なども確認している。	・単独訪問の日等では必ずしもその日のうちにできない場合もありますが、「はい」の回答が18件(90.0%)と従事者が高い意識で、打合せや振り返りに取り組んでいる姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	20 100%	0 0%	① 訪問先の理念等を尊重することとお子さんの困り感と折り合いをつけた提案をしていくには訪問者に一定程度のスキルが求められると思う。人材育成を引き続き行っていけるといいと思う。	・「はい」の回答が22件(100%)と従事者が高い意識で、訪問先の理念や支援手法を尊重しながら支援にあたっている姿勢が伺えます。事業所として、人材育成も含め引き続き適切な運営に努めていきます。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	20 100%	0 0%	① 園訪問実施後も園と継続して連携している内容について、別記録となっているため時系列での検証・改善が不十分な場合がある。	・「はい」の回答が22件(100%)と従事者が高い意識で、記録の作成や支援手法の検証・改善にあたっている姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。 ・記録の使い勝手(①)の意見については、検討・調整していきます。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16 80%	4 20%	① 定期的なモニタリングはできていないが、その後の様子は確認して、難しい話ができたなら所属集団と連絡をとるなど対応はしている。 ② 訪問先の意向確認を定期的に行うことの難しさを感じる。 ③ 面談や親子日に様子のききとりを保護者からはしているが、園からのききとりは相手の発信待ちになりがちである。	・地域療育センターの各専門職員が兼務して訪問支援を行っており、保護者とはセンターのサービス利用時に担当者として会い、モニタリング以外でも定期的な連絡・連携を取ることが多い状況です。 ・「はい」の回答が16件(80.0%)であるものの、意見②、③にある訪問先との定期的な連絡・連携についてはやや課題が残り、引き続き検討・調整が必要です。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18 90%	2 10%	① 基本的には担当者に参加しているが、他機関の職員がどこまで把握しているかは不明である。	・「はい」の回答が18件(90.0%)と従事者が高い意識で、関係機関との会議等に適切な担当者で参画している姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16 80%	4 20%	① 必要時連携をとっている。	・児童を取り巻く生活環境等として、地域の関係機関との連携は重要であり、個々の必要性に応じて対応していく必要があります。

関係機関 や保護者との 連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18 90%	2 10%	① 保護者から発信してもらい、所属集団からの依頼で実施している。難しいケースは、担当者が所属集団に連絡を取る場合もある ② 引きつぎの時間を設定している。また、区で統一した書式を用いて児童の様子を引き継ぐようにしている	・「はい」の回答が18件(90.0%)と従事者が高い意識で、学校等との情報共有や相互理解を図っている姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13 65%	7 35%	① 保育所等訪問については、実施できていないので、今後はできるといえると思う。うちに限らず、どの機関もそれぞれできることを実施していて、差が多い。回数が多く実施できないので、本人理解やエンパワーを目的としているが、他の機関では直接的な支援、人手として行っているような話もあり、どういう形がいいのか確認する機会は欲しい。 ② 訪問支援は、各自が先輩からの伝達で何となくこんな感じかなと思って行っているように思う。訪問支援についてセンター全体でレクチャーを受けたことがない。	【「いいえ」の回答が3割以上】 → 「いいえ」が7件35.0% ・療育センターとして、保育所等訪問支援事業の位置づけや方針等の検討・調整と併せ、人材の計画的な確保・育成に向けた仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12 60%	8 40%	① 自立支援協議会は代表者が出席しているが、その他は依頼があった場合は、参加している。 ② 一部の職員が参加し、時折内容が共有される程度。積極的にやっているとはいえないように思う	【「いいえ」の回答が3割以上】 → 「いいえ」が8件40.0% ・代表として参加したメンバーが橋渡し役として内容等を持ち帰りセンター内での共有等を図ったり、参加会議への発信等をしていく必要があります。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20 100%	0 0%	① 幼児期は、保護者と共通理解を作っていくことが支援の主だと考えている。 ② 努力しているが、共通理解になるほどの話し合いの機会を設けられていないのが現状である。保護者の本人理解は学齢期になっても継続する課題だと感じている。	・「はい」の回答が22件(100%)と従事者が高い意識で、子どもの発達の状況や課題等について保護者との共通理解をもっていく姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12 60%	8 40%	① 保育所等訪問支援事業としての家族支援プログラムは設定していないが、センター全体のプログラムの中で家族支援の視点を踏まえた活動や講座等はある。 ② 現状できていないので、どんな研修があるか確認して必要の人に提供できるといえると思う。	【「いいえ」の回答が3割以上】 → 「いいえ」が8件40.0% ・家族支援については、保育所等訪問支援事業としてのみではなく、地域療育センター全体の取り組みとして、更なる検討・調整を続けていく必要があります。
保護者等への 説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18 90%	2 10%	① 管理者が30分程度時間をとって契約を説明できている。	・契約時の重要事項説明や契約書の説明の中等で、書面交付を含めた丁寧な説明を、引き続き行っていきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	19 95%	1 5%	① 伝えてはいるが、同じセンターで訪問をする事業が複数あり、違いは理解できているか不明な部分はある。本人の実施の目的は確認している。 ② 訪問前に適切に説明をしても、訪問先施設の管理職と現場の担当の先生間で認識が異なることがある。都度、説明する必要があると感じる。もしくは訪問支援についての趣旨説明用紙があってもよいと思う。	・「はい」の回答が19件(95.0%)と従事者が高い意識で、適切な説明を行っていることが伺えます。保護者向けの説明書を援用している場合もあると思いますが、訪問先施設用についての改善意見は、検討・調整が必要です。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20 100%	0 0%	① 話だけでなく、書面を使って保護者の意向をききとりしている	・「はい」の回答が20件(100%)と従事者が高い意識で、子どもや保護者の意思の尊重、意向の確認をとっている姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	20 100%	0 0%		・「はい」の回答が22件(100%)と従事者が高い意識で、訪問支援計画に基づいた支援内容の説明と保護者からの同意を得て支援にあたっていることが伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	19 95%	1 5%	① 保育所等訪問支援のみではなく、センター全体の支援として行っていると思う。 ② 保護者からの話があって対応することが多く、定期的な実施までは至っていないのは現状かと思う。	・「はい」の回答が100%となっていますが、②のような意見もあり、工夫していくことが必要です。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6 30%	14 70%	① 実施できるように引き続き検討していけるといえると思う。 ② できておらず、実施している団体もあまりない。どのような支援が必要か考えていくことは必要だと感じる。 ③ きょうだい児支援は検討していけると良いと思う。 ④ 父母会が休会しており、十分とはいえない。	【「いいえ」の回答が3割以上】 → 「いいえ」が14件70.0% ・家族支援については、保育所等訪問支援事業としてのみではなく、地域療育センター全体の取り組みとして、更なる検討・調整を続けていく必要があります。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19 95%	1 5%		・契約や受給者証の発行等が必要となる保育所等訪問支援ではスタート時の手続きに時間を要しますが、まずは速やかな相談対応をきちんと続けていくことが必要です。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10 50%	10 50%	① 情報に気軽にアクセスできる環境の整備は必要に感じる。	【「いいえ」の回答が3割以上】 → 「いいえ」が10件50.0% ・「いいえ」の回答が5割あり、保護者等への発信等が不足しているのが現状であり、自己評価の公表等情報の公開に向けた改善が必要です。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20 100%	0 0%		・個人情報の取り扱いについては、適宜研修・啓発等を行っていますが、日々の療育や相談支援・事業実施等に当たっても、継続して注意喚起していくことが必要です。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20 100%	0 0%	① 子どもの意思について話すことはあるが、未就学の場合保護者の気持ちも重要なので、家族の今のバランスを考えるようにしている。虐待が疑われる場合の伝え方などの判断は、難しいと感じる。	・「はい」の回答が22件(100%)と従事者が高い意識で、子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の配慮をして支援にあたっている姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	19 95%	1 5%	① 電話や見学で伝えられるようにしている。 ② 連絡がくれば対応している。 ③ 回数に制限があったり、手続き上の制限があり、迅速な対応ができないことがある。電話での相談など、その時できることで対処している	・「はい」の回答が19件(95.0%)と現行の体制の中で従事者が高い意識で工夫しながら、訪問先からの相談等に適切に応じ、必要な助言や支援を行っていることが伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	17 85%	3 15%	① zoom等も活用し、情報を共有できている ② 実施直後はやっている。モニタリングとして実施には至っていないが、本来はできるといえると思う。保護者を通じて行っているのが現状である。 ③ その場が難しい時は後日、ズームなども活用している	・「はい」の回答が19件(86.4%)と従事者が高い意識で、訪問実施後の訪問先施設とのカンファレンスに取り組んでいることが伺えます。 ・訪問先との連携については、意見①、③の工夫もしながら対応していますが、意見②の間接的な方法となっている場合もあり、事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	20 100%	0 0%	① 実施後、1時間程度面談で伝えている。 ② 面談を設定し、伝達している	・「はい」の回答が20件(100%)と従事者が高い意識で、訪問実施後の家族等への支援内容等の適切な情報共有を行っていることが伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20 100%	0 0%		・「はい」の回答が20件(100%)と従事者が高い意識で、個人情報の取扱いに十分留意していることが伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	19 95%	1 5%	① 本人理解をしてもらいたい、園の方針や関わりの限界などもあるので、園や担当の先生が安心して関わられるような話をしている ② 個人の力量に任されているところがある。研修や伝達が必要	・「はい」の回答が19件(95.0%)と従事者が高い意識で、訪問時からの相談対応や信頼関係の構築、専門的な助言の提供に取り組んでいる姿勢が伺えます。事業所としても引き続き適切な運営に努めていきます。 ・意見②については、問7と同じです。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19 95%	1 5%	① マニュアルはあるが、保護者への周知が十分とはいえない	・地域療育センターとして、児の安全確保のための各種マニュアル整備や対応訓練等を定期実施しています。いろいろな場面や状況に即した臨機応変の具体的な対応が、各職員ともとれるように、引き続き継続していく必要があります。 ・毎月の事故防止委員会におけるインシデントやヒヤリハットの報告と情報共有、各課への持ち帰り・検討による全職員への周知・理解等を図っていますが、引き続き徹底していく必要があります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19 95%	1 5%	① 訓練をしてやっているが、実際の場面がくると動けるかは不安がある。 ② 安全計画はあるが、職員、保護者への周知が十分とはいえない。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19 95%	1 5%	① 月1回インシデントアクシデントは各課で共有し、自身に置き換えて考える機会になっている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20 100%	0 0%	① 人権研修は年1回必ず行っているため、いつも再認識できる。	・虐待防止・差別解消・身体拘束等の廃止・適正化のための研修や啓発等を毎年実施しており、引き続き継続していく必要があります。グループワークや実践に即した対応研修等も検討・調整していく必要があります。 ・虐待防止・差別解消・身体拘束等の廃止・適正化委員会を隔月で定例開催しており、必要な工夫・改善等について検討・調整を引き続き継続していく必要があります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15 75%	5 25%	① 身体拘束を行っていないため記載はなし。 ② 正直把握しておらず、わからない。事前説明は重要であるし、直接支援がなくてもどんなことを保護者につたえているのか理解しておいたほうが良いと思った。	